

2. 会員活動紹介

2023年度の「チャレンジアクションの推進支援」を行なった3団体、及び「活動助成」を行った2団体の活動概要をご紹介します。

<チャレンジアクション>

南船場もちつき大会に合わせた賑わいづくり

by 南船場を盛り上げたい有志チーム
芦池グラウンドにて、地域の恒例行事に合わせて、地域有志による子ども向けの体験ゲームを実施。今後の学校跡地活用に繋げていくための関係構築等を行いました。



もちつき大会の様子

体験ゲームの様子

せんばパーク花火&アソVIVA センバ

by 中船場活性化連絡会
久宝公園にて、恒例になりつつある第3回船場パーク花火を開催しました。また、「アキナイキッズ」さんの企画運営のもと、米粉を使ったクリスマスツリーづくりなど、子ども体験イベントを開催しました。



せんばパーク花火

アソVIVAセンバ

「堺筋を考える会」の立ち上げ

by 堺筋を考える会

大大阪時代の船場を代表する象徴的なエリアである「堺筋」において、堺筋のブランドを再構築する＝リブランディング『堺筋のビジョン』の策定とビジョンの実現を目指す組織が発足しました。



記念シンポジウムの様子



<活動助成>

大塚善章 Quintet Hard Bop Jazz Live

by アドレムジークせんば
2024年2月11日、大阪証券取引所ビルのアトリウムを活用し、ジャズライブを開催しました。立ち見のお客様もあり、ご来場の方々から喜びのお声を沢山頂くことができました。



ジャズライブの様子

公開空地の利活用に関する意識調査

by 船場コモンズ研究会
船場地区における公開空地の柔軟な利活用に向け、公開空地のオーナー企業を対象に、ヒアリング調査を行い、今後の活用意向等を把握しました。今後、活用意向のある企業へのノウハウ提供や、占用基準の緩和に向けた検討、ベンチの設置等の地域活動などの展開を図ります。

お問い合わせ



■ 船場倶楽部に関するお問い合わせ
Mail/info@sembaclub.com
■ 船場倶楽部ホームページ
www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約したポータルサイト



一般社団法人 船場倶楽部

SEMBA CLUB Annual Report 2023



「船場倶楽部」では、船場の歴史・文化・暮らしを育みながら、良好な景観・美観を創出し、まちの魅力向上と賑わいづくりに貢献するため、船場地区内の地域連合振興町会、商業団体、社寺、法人企業、そして地域まちづくり団体などが連携協力し、船場地区全体に亘る課題について、検討し解決に努めることを目的として活動しています。

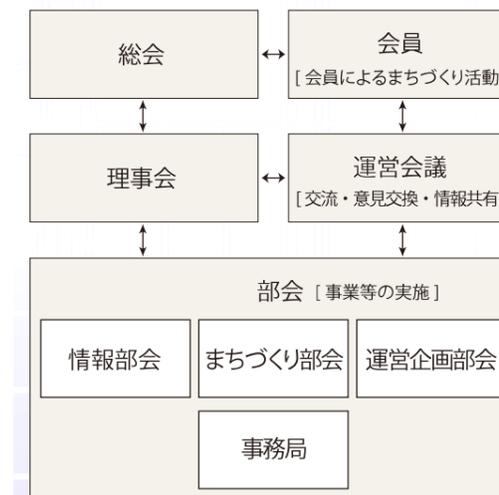
組織運営体制の強化を図るべく、2023年6月総会で法人化を決議、8月1日より「一般社団法人 船場倶楽部」として活動を開始しました。

また、2022年度に作成した船場未来ビジョン『オープンマインドコア“船場”』に基づき、オープンエア空間やストリートレベルの交流が新たな価値を生み出す「都心共創地区 CCD~Central Co-creative District」を目指して、都市・世界目線を持ちながら、まちの人の顔が見える、つながりが見える都心を目指した活動を開始しました。

活動内容

- 1 船場のまちの課題を解決し、新しい都心像に挑戦
- 2 連携と交流を育むまちづくりを発展
- 3 開かれた船場の窓口
- 4 船場の情報発信

組織体制



役員等 (2023年度)

- 理事長 大橋 達夫 (集英連合振興町会)
副理事長 田中 雅人 (大阪ガス (株))
理事 川上 潤 (愛日連合振興町会)
理事 前田 葉子 (渥美連合振興町会)
理事 源 裕次 (船場センタービル連盟)
理事 池田 吉孝 (船場博覧会実行委員会)
理事 山口 浩之 (道修町まちづくり協議会)
理事 渡邊 紘一 (坐摩神社)
理事 中塚 一 (地域計画建築研究所)
理事 畑中 一起 (大阪シティ信用金庫)
理事 辰野 光彦 (辰野 (株))
監事 古山 昭 (せんば心齋橋筋協同組合)
監事 玉野 淳 (船場中央税理士法人)

特別顧問 橋爪 紳也 (大阪市特別顧問 | 大阪公立大学研究推進機構教授 | 大阪公立大学観光産業戦略研究所所長)

会員 (2024年3月末時点)

- 正会員 77名
賛助会員 65名
(連合振興町会、商店街、まちづくり活動団体、寺社、法人、個人)

1. 活動報告

船場未来ビジョン『オープンマインドコア“船場”』の実現

「都心共創地区 CCD~Central Co-creative District」の実現に向けて、以下の取組を推進しました。

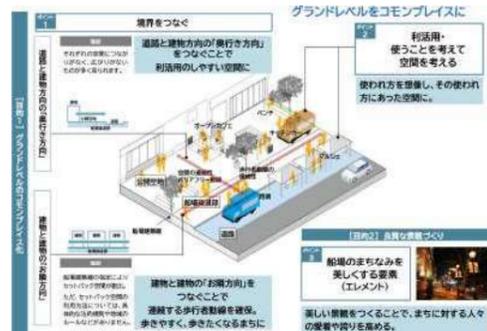
オープンエア空間のコモンスペース化推進

CCD を目指した道路空間の利活用社会実験 | 11月17日~19日、道路空間の柔軟な活用を図るための社会実験を実施しました。今年度は、今後、推進していくことが想定される「タイムシェアリングによる車両フルクローズ」及び「歩車分離・車両制限のないカーブサイドマネジメント」の2つの道路活用パターンを試行し、その有効性や課題を検証しました。



社会実験の様子

まちなみガイドライン案 | グランドレベルをコモンプレイスにしていけるための公開空地・船場後退部・建物低層部等の地元ルール（案）を策定しました。



CCD 船場まちづくりセミナー | 未来ビジョンの全国への発信、世界で活躍するまちづくりの専門家との意見交換を行うセミナーを開催し、計470人の方にご参加いただきました。

第1回 (5/8)	都心のパブリックスペースの在り方~ ニューヨークの公共空間情報~ (ニューヨーク市公園局 島田 智里氏)
第2回 (9/22)	最新バリの都市計画に学ぶ新たな都心創造 (バリ市建築・都市計画家 ヤニック・ベルトラント氏 トモコ・アンヨウジ氏)
第3回 (11/10)	Co-creativeな空間づくりのための コミュニティデザイン (studio-L代表/コミュニティデザイナー 山崎 亮氏)

多様なヒト・リソースの発掘・支援

船場サロン | 船場内外の様々な人・活動が出会う場「船場サロン」を開催しました。船場倶楽部事務所（伏見ビル）・β本町橋・ナカセンバカフェを会場に、毎月1回・「8」のつく日に開催しています。2023年度は、計9回のべ130名の方に参加いただきました。



チャレンジアクションの推進支援 | 船場未来ビジョンで「チャレンジアクション」として掲げた公園・学校等貴重な空間の利活用や、堺筋の魅力化等に取り組む地域活動が円滑に進むよう支援しました。また、次世代に活動を繋いでいくため「こども」をテーマとした新しいチャレンジの立ち上げを支援しました。（※詳細は、裏表紙をご覧ください。）

船場フォーラム 2024 -Central Co-creative District 船場 Part1

2024年3月2日に開催した第20回船場フォーラムでは、「未来ビジョン」の目指す姿を船場全体で共有し、船場周辺の各エリアで活躍するまちづくりの担い手の方達と今後の展開について議論しました。



情報部会

船場「まちの案内板」の設置

船場の魅力を伝えていくための案内板の設置を進めています。2023年度は、地権者案内板2基の作成に取り組みました。



本町通に設置された案内板

船場ナビ（ウェブサイト・SNS）の運営

前年度に引き続き、SNS(Facebook, Instagram)で船場の魅力や日常風景を「船場つうしん」として発信し、その内容を船場博覧会でポスター展示しました



芝川ビルでの「船場つうしん」の展示

船場ガイドブック 2023の発行

第12号にあたる2023年度版では、「船場の音楽」をテーマに特集しました。



バックナンバー
(事務局までお問い合わせください)



船場ガイドブック2023

活動助成制度

まちづくりや交流の新たな芽が育つよう、会員を含む新規活動団体や、会員団体間の連携による新たな活動に対する助成制度を設けています。2023年度は、2団体に活動助成を行いました。（※詳細は、裏表紙をご覧ください。）

運営会議の開催

船場倶楽部の実施事業に関する進捗報告や意見交換、会員間での情報交換を行うための運営会議を開催しています。2023年度は3回の会議を開催しました。